



2011年10月30日

# セカンドハンド通信 NO.66



セカンドハンド 本部事務局 TEL&FAX 087-861-9928  
〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18  
E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/

カンボジアにいても、私達のために懸命に働いてくださっていることを忘れることはありません。

家庭がとても貧しく、支援がなければ学校に通うことはできませんでした。

救急車、機材、技術がなければ何も出来ませんでした。  
人の命を救えるこの仕事が大好きです。

## マオラーンさん（ホームランド孤児院代表）

日本では、ホームランドの子ども達のことやセカンドハンドの支援についてお伝えする、貴重な機会をいただきました。帰国後は、ホームランドの子どもや職員らに日本でのことを話しています。セカンドハンドのボランティア、支援者の皆様がどんなに親切で素晴らしいのか。多くを学びましたし、お会いした皆様を心から尊敬しています。

私の心の中にはいつも皆さんがいます。ホームランドの子ども達とセカンドハンドの皆さんがいつかひとつの家族のようになればと願っています。



## 「ありがとう」

カンボジアの行く先々で預かった、感謝や被災地へのお見舞いの言葉。そして、来日した4名のメッセージをお届けします。

### ソチェンダさん、ナヴィーさん（救急医療支援先）

セカンドハンドの活動は聞いていましたが、支援金を集めるために、これほど努力されているとは思いませんでした。特にボランティアの方たちが自分の時間を割いて働きに来ている姿には驚きました。

研修で学んだ技術や救急システムは、回りの人たちに広げていきます。皆さんは救急医療支援、施設、技術・・・カンボジアの人々の命を守るためにとても大事なことをしてくださっています。本当に感謝しています。



### ブッティ君（ホームランド孤児院卒業生）

ホームランド、セカンドハンドに出会い、私の人生は変わりました。それまでは、食べるものもなく、学校にも通えませんでした。今はフォスターペアレントの支援で大学に通い、エンジニアになる夢を持ち、自信をもてるようになりました。日本で里親に会い、これ以上ないくらい感動しました。私はラッキーですが、まだ多くの子どもが皆さんの助けを必要としています。私はあなた方を一生忘れません。

技術を身に付け、収入を得て家族を支えられるようになりました。

日本の震災のことを思うと今でも悲しくなります。二度と日本にこのようなことが起こりませんように...



現地からのメッセージ動画をホームページにアップしました！

Yahooで   ぜひご覧下さい。

クリック



「セカンドハンド」は、ボランティアが主体となって運営する国際協力団体です。主な支援先はカンボジアで、学校建設や奨学金支援などのほか、自立・医療・孤児院支援を行っています。資金源は皆様のご寄付とチャリティーショップ（提供された品物を無報酬のボランティアスタッフが販売）。一人ひとりの力は小さくても集めれば大きな力となる」をモットーに活動しています。世界の誰かのために、あなたの力を貸してください。

商品提供やご寄付など、支援してくださった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

# チャリティーコンサート ご協力ありがとうございました

9月22日、あったか〜い雰囲気にもまれたコンサートでした。

13年前にもチャリティー出演して下さったヴァイオリニスト、パーヴェル氏が、TV番組「のだめカンタービレ」に出演したのを機に、コンサートツアーを開催するので「チャリティーで協力するわ」と企画する森本様より声をかけていただいたの

がきっかけでした。

前日の台風、来場者数など心配が山積みでしたが、当日は約600席の会場に溢れる程のご来場があり、どれほど嬉しかったことか!パーヴェル氏の日本語でのトークを交えたお人柄溢れるステージに、「素晴らしいさに涙が出ました」「極上の音楽で来場者を楽しませようという気持ちが伝わる、楽しいコンサートでした」等の声が届きました。

今回の収益金は約160万円。皆さまの気持ちと共に被災地、カンボジアの孤児院、救急医療の支援に充てさせていただきます。

無償で協力くださったアーティスト、ミュージック企画をはじめ、協賛企業、事前準備から当日まで尽力くださった皆様、関わった皆様に心よりお礼申し上げます。



温かい雰囲気にもまれたコンサート



会場で来日者4名によるスピーチ

## 救急医療支援

# 現地のリーダーを育成する来日研修

NPO法人TICO 渡部 豪



さくら診療所で指導する渡部医師

ブノンペン市でセカンドハンドと共に救急医療支援を行っているTICOの医師、渡部です。香川県-JICA事業として昨年まで実施していた医

で我々の事業の総務を担当する薬剤師のイム・ソチェンダ氏を招聘しました。

徳島のさくら診療所で、意識障害の鑑別診断、ショックや外



高松消防局の救急車同乗研修も

傷の対応等について劇仕立のトレーニングをした他、高松市消防局での研修、徳島県美馬市のホウエツ病院の見学を行いました。熱心に取り組み、たくさんの質問をしているのが印象的でした。

今後も日本への招聘と研修を継続したいと考えています。何卒、よろしくお願い申し上げます。

師の日本での研修を、2011年度からNGOである私たち2団体が協働で実施しています。

日本での研修は、技術向上のみならず、医療従事者としての姿勢に於いてもリーダー的役割を果たすようになる、非常に効果が高い支援方法です。今回は9月15〜30日まで、ポチエントン病院救急隊のニム・ナビー医師と、カンボジア国内

## フォスターペアレント募集

カンボジアではストリートチルドレン、貧困や虐待など様々な理由で孤児院に保護される子どもが多くいます。ホームランド孤児院に保護された子どもを支援して下さる方を探しています。子どもとの手紙交換も可能です。孤児院への寄付も大歓迎!

(詳しくは事務局まで。)

## 奨学金支援にご協力を!

昨年、他団体の奨学金を受けていた5名が急に支援を絶たれて困っていると当通信で紹介しました。それを見て、1年分の学費をご寄付くださった方のお陰で学校を継続できましたが、未だ支援者が見つからないため、仲介組織から協力要請がありました。1名の支援額は7万円程度。1名分でも支援できる個人・団体を募集しています。

# 13年以上閉鎖されていた医療施設 1万人の住民のために再開させたい

ブノンペン市西部保健局の局長から支援を検討してほしいと案内された場所には、何とも古びた建物がありました。亀裂、シロアリ、室内には蟻塚…。カンダール州であったボエントム地区がブ

ノンペン市に合併された13年前、この診療所は閉鎖されました。周辺1万人以上が住むこの地域の人々は、出産するにも10km離れた医療施設に行くしかありません。車を持つ人はごく一握り。自宅分娩もやむを得ない状況でした。

今年、この地区が西部保健管区となり、局長から支援の要請を受けました。過去、ここで医療スタッフとして働いていた3名も「再開後には全面的に協力する」と地域のために働く気満々！改築すれば、1万人以上の方が医療を受けられる施設となります。費用は約360万円。今年度中には着工したい考えです。ぜひご協力ください。



村長から再開への協力を求められた



荒れ果てた建物の中。  
壊れた机に試薬が置かれたまま

## ザンビア小学校建設支援

### 新しい校舎で授業が 始まりました



机いすが揃った新しい校舎で学ぶ生徒たち

現在も建設作業は続いています。一足早く新しい校舎で授業を始めました。これまでは机も椅子も無い、薄暗く狭い教室で勉強していましたが、新しい教室には光

がたっぷり射し込み、クラス全員が行儀よく机に座って勉強しています。

シアダウンカ校長先生は「新しい教室で、子ども達は勉強できることを本当に楽しんでいます」と満足顔。

PTAの皆も「セカンドハンドを通じてご支援下さった皆様に早く完成した学校を見せるんだ！」と、持ち前の結束力で残りの建築を進めています。床に貼る石が足りなくなれば当番を決めて石割りのために集まり、トイレ用の3mの穴もお父さんたちが地面にもぐって掘り進めています。

残り少しの建築の間も応援よろしくお願い致します。

(TICOザンビア事務所 黒田)

## 香川経済同友会×セカンドハンド

### 第2回被災地支援バザー@JR高松駅

7月の高松市役所に続き、9月30日から3日間、高松駅でバザーを開催。同友会の会員企業の社員から集めた品物など約80箱を出品しました。

売上数1位は本。約640冊で16万円超の売上げ！レジは休まることなく、3日間で487,453円。「お釣りは募金箱に」という方も多く、買って応援しようという気持ちが伝わってきました。皆様に、感謝！です。



### セカンドハンドへの被災地支援寄付金が 内閣府より指定寄付金の認定を受けました

9月14日以降の下記の指定口座への寄付は、企業ならば全額損金算入、個人寄附の場合：税額控除寄附金の50%\*（寄附金 - 2000円）×（国税40% + 地方税10%※地域によります）となります。確定申告時にセカンドハンドから発行された領収書が必要ですので、必ずご寄付の際には住所を正確にご記入ください。

郵便振替口座

01600-9-108264 被災地支援基金



# カンボジア視察渡航 報告記

2011年8月22日～9月1日、計6名で支援先を訪ねてきました。  
参加大学生3名が見て感じたカンボジアの今をご紹介します。  
ます。

## 「向き合うと幸せがあった」

香川大学法学部 瀧口 幸恵

自分がこんなに感情豊かだったなんて思っていなかった。楽しみ、悲しみ、迷い、怒り、安らぎ…もっている感情をすべて出し切ったと思えるほど刺激的で濃い9日間だった。

私は、セカンドハンドユースLIFTで活動に参加してきた。続けるうちに現地に行ってみたいという気持ちが強くなった。私たちの活動は本当に途上国の人々の生活を良くしていくのだろうか。現地の人々とどんな関係を築いているのだろうか。自分の目で見て確かめたい。そんな思いからツアーに参加した。

到着してまず目に飛び込んできたのは、首都プノンペンの発展した街並み。想像を超えるカンボジアの発展に驚いた。少し郊外に出るとまた驚いた。さっき見たものとは対照的な風景があったからだ。かやぶき屋根の小さな平屋、裸で走りまわる子どもたち、物乞い…。「格差」を目の当たりにした。

フェアトレード商品の製作現場では女性たちにインタビューすることができた。そこで印象に残ったのは、セカンドハンドと現地の女性たちとの結びつき、信頼関係の強さであった。よき取引相手であり、よき友人であった。働く人々はみな技術を身につけることに誇りと喜びをもっていた。

そして最後の2日間は、奨学生の住むスラム街で過ごした。ユースの支援で今年高校を卒業し、大学に進学するナヴァンの家にステイした。彼女は20歳で、

5人家族。父は早くに亡くなり、上の兄2人は出稼ぎにでており、母と病気の弟と3人暮らしだ。母は、内職で家計を支えている。ナヴァンは、勉強の傍ら、近所の小学生に勉強を教え、家事のほとん

どを行い、弟の世話をし、時間ができると母の内職の手伝いをしていた。「がんばるね！大変じゃない？」と問いかけてみると「なんで？全然！家族と一緒にいられて、家族を助けながら勉強までできて私はとっても幸せ」といい、将来カウンセラーとして貧しい人々や悩んでいる人たちの心の支えになりたいとの夢を語ってくれた。そのきらきらした表情が目に残り、私たちが活動が、一人の可能性を大きく広げている。成果をはっきりと自覚した瞬間であった。

最後に、カンボジアへの旅を通して自分自身と向き合った。向き合って気付いたことは、身の回りにあった優しさ、幸せである。カンボジアの人々は生活の中の幸せに敏感であった。私は知らない間に誰かに想われて、愛されて、支えられていた。私自身も誰かを想い、愛し、支えている。それに気づけたとき、涙が止まらなくなった。そしてその幸せには国境はない。私たちはカンボジアの人々を想い、カンボジアの人々から想われている。ごく自然で当たり前になれるのだ。想いあえることの幸せを、カンボジアは教えてくれた。この幸せの輪をもっと広げていきたい。



ベランダから見える発展したプノンペンの様子



ユースでフェアトレードの商品開発！  
完成した商品はバザーなどで販売中



製作現場の女性にインタビューする瀧口さん



子ども達が捕った蛙。  
遊びではなく食事のためだった

## 「知る・考える」

徳島大学総合科学部 高平 沙弥果

私が参加したのは大学の授業でセカンドハンドの講演を聞いたことがきっかけだった。

ツアー中は多くの方に出会い、さまざまな話を聞いた。スヴァイリエン州では最寄りの医療施設が10km以上先にしかないことが不便を通り越して命の危険にさえ繋がるという現状があった。セイ・ペイさんは娘さんの出産の際、近くに医療施設がなかったため適切な処置が出来ず、10km以上の悪路を担架に乗せて運ぶ途中で娘さんを亡くしたそう。娘と同じような人をこれ以上出たくない。だから医療施設が必要なんです」と地域住民の声を代弁して現状と問題解決のための支援を渴望していることを訴えた。場所は変わりセカンドハンドが支援をしたポチェントン病院でも話を聞いた。ここは地元でも人気で、月平均100人の出産がある。このツアーで私たちは支援前後の現場を視察することが出来た。それによってセカンドハンドの支援は現地のニーズに応えたもので、どれだけ現地の人の支えになっているかを2つの地域を通して知ることが出来た。だからこそ支援の重要性を改めて感じた。

また、ホームランド孤児院では資金的問題についても触れた。今まで支援があった国連機関やNGOが次々撤退し、経済的に支援が困難な状況に陥っているという深刻な問題が起きていた。ホームステイした翌朝、子供たちと仲よくしたい

一心で、私は覚えたてのクメール語で「お腹すいたね」と話かけた。しかし、間もなく私はその行為に後悔をする。施設の方は私たちに朝ごはんを用意してくれた。しかし、そこには子供たちの分はなかった。その日私は、今までにないくらい感謝しながら朝ごはんを頂いた。支援がストップしても目の前にいる子供たちの人生は続いていく。だけど、支援するには気持ちだけではどうにもならず、経済的支援が必要なのも事実だ。「応援しています」の言葉は心強い。しかし、その言葉とともに物理的支援が必要であるという“形ある支援”の重要性についても考えさせられた瞬間だった。

最後にすごく印象に残ったことを伝えたい。センソックでユースが支援している奨学生達から感謝のメッセージをもらった。私のステイ先のバイバイの家族も「うちは貧しいから支援がなければバイバイは勉強が出来なかったわ。バイバイに学ぶ機会を与えてくれてありがとう。」と心をこめて言ってくれた。メッセージを言う学生の中には泣きながら話す子もいた。私は単純に驚いたのだ。涙を流すほど、言葉を詰まらせるほど彼女たちの感謝の意が大きいことに。だから、彼女たちがどれだけ感謝しているか、みなさんの支援がどれだけ彼らの人生の支えになっているかを最後に伝えたい。



ホームステイ先の家族と  
(中央が高平さん)



空いた時間は親の仕事を手伝う奨学生



路上で暮らす子どもを一時預かる  
孤児院の施設  
来年3月には運営資金が途絶える

# 「出会い・繋がり—スタディツアーで得た想い」

香川大学経済学部 川田 和幸

「視野を広げる」スタディツアーでその大切さを学んだ。

ブノンペン中心部は予想以上に発展していた。「現地に行く事で、本では追いつかない今の姿を見る事ができる」と強く思った。最も印象に残ったのはトゥールスレイ虐殺博物館である。心構えをしていたが、実際の収容場所を目の当たりにすると言葉が出なかった。犠牲者の写真の中には子どもの物もたくさんあり小さい子どもの写真は正直、見たくなかった。しかし私は、繰り返し胸が締め付けられる思いをしてでも現地に來た者、歴史を学び伝える者として絶対に見なければならなかった。ポル・ポト時代はなぜ始まったのか？答えは分からない。カンボジアでは同時代があまり学校教育で触れられず、知らない世代も増えている。私達が戦時中の日本をどれだけ知っているかも考えながら、今後も多角的に歴史や政治を見ていきたい。

そしてセンソック。ユースで支援した中学校を訪れた時は充実感で一杯だった。この場所から新

しく希望を見出す学生がきっとたくさんいる。私は奨学金を得ているリナ君の家にホームステイした。医者になる目標を持つ彼は勉強熱心。私は彼よりもはるかに恵まれた環境にしながら、目標が漠然としている事を思い知らされた。

翌日、以前から手紙を交換していたサンボやチャンと初めて会った。何年ぶりかに親友に会ったような気持ちになり嬉しかった。セカンドハンドで活動が続けてきてよかった！今後も奨学金支援を続けていきたい。

ツアー中は現地で活躍する方々との食事や参加者同士のディスカッションを通じて貴重な話を聴けた。セカンドハンドの、チャリティショップ等皆がそれぞれの立場で参加できる仕組みは素晴らしいと思うし、チャンスを頂きユースで活動している事が貴重な経験だとも思う。今回見つけたニーズは多く、全て何とかする事は難しいかもしれないが、そう思った時ほど日本で活動を積み重ねる事が大切だと思う。今後も一人一人との出会い・繋がりを大切に活動成果に結び付けたい。



奨学生のリナと(右が川田君)



センソックの子ども達  
裸足の子が多く怪我が心配になった



ずっと会いたかった奨学生の皆と

## SPECIAL THANKS 〈敬称略〉

7月26日～10月20日までの3ヵ月間にご寄付などで協力くださった方々です。ここには掲載しきれない、その他に様々な形で協力くださった皆様もありがとうございます。【店舗・倉庫】西川(セカンドハンド福岡)、(株)セシール(春日町)、富井(満濃町)、長嶋(田村町)、(株)マルナカ(丸亀店)【ニュースレター発送】後藤家、高倉恒三、その他たくさんの方々【寄付】香川/安藤美代、井出るみ、入江治子、植田和子、宇川明子、鶴川利恵、小池、シェーン、大同ガス産業(株)、高倉千登世、高松東高校マンガ研究部、(有)玉木水象堂、鳥かい歯科医院、沼田章、初瀬勝彦、平木武、ふたばのこころ、Michael Bedlow、横井宏子、松原志乃、マハロ、三谷範至、三原主幹、三好富士夫、矢野秀明、横田千春、吉田敏子、愛知/米倉逸克、愛媛/友近規、大阪/梶河保世、徳芳郎、堀良子、岡山/岡田誠、田中里米、神奈川/森田政記、弓削田裕子、群馬/ISOZAKI ANNA、埼玉/高倉恒三、三浦美保、東京/小岸弘和、シュエリン公子、山崎唯司、徳島/饗場和彦、遠藤寛、宮本有加莉、富山/荻浦いく弥、福岡/薄陽子【その他】香川マツダ、Cafe Yula、コスモ商事(株)、佐川急便(株)、天勝(丸亀)、徳島文理大学国際教育支援サークルPapuPapu、林田物流(株)、ブルワン、Honda Cars 香川屋島店【ニュースレター作成】(株)アイコー印刷



寄付やSOS会費の支払いがインターネットからできるようになりました！  
詳しくはセカンドハンドのホームページ(<http://2nd-hand.main.jp/>)をご覧ください。





各店、支部とも一緒に活動してくれるボランティア募集中!

### 高松店・片原町店

営業時間を変更して毎日オープンしていますが、スタッフが不足しています。ぜひ皆さんの力を貸してください。



### セカンドハンド北海道

スタッフは少人数ながら、他のNGOとの合同イベントやフリーマーケット、バザーに手分けして参加し、カンボジア商品を販売しています。今回、初めて札幌市内にある教会のバザーに出店しました。催しにこまめに顔を出すことで、より多くの方々にセカンドハンドの活動やカンボジア商品の良さをお伝えしたいと願っています。(吉田)



10月はイベント出店頑張りました!

### 丸亀店

開店して半年「セカンドハンドさん、定着しよるで〜。あちこちで、店のこと耳にする」と嬉しい言葉をお客様から頂きました。さらなる集客と宣伝のため、店内放送に加え、1Fの表玄関でボランティアの方の都合のつく週末にワゴンセールも始めました。運営を支えるお店番ボランティアを募集しています。親子で社会体験にもなります。「やってみようかな!」という方、お声かけください。楽しいですよ!お待ちしています。

(原)



### セカンドハンドユース

フェアトレード隊 LIFT&国際協力隊 小指会

9月に来日したホームランド孤児院の方々と囲んで、中学生から一般の約20名が集い、交流会を開きました。現地の活動成果を実感し、今後の活動への意欲が高まりました。



来日者とのポットラックパーティー

また、今期から新しい奨学生を支援します。さらに力を入れて活動に取り組んでいきたいと思います。

●11月6日(日)

アイパル国際フェスタ フェアトレードcafe出店

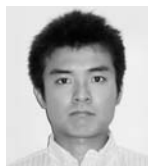
### 倉庫(田村町&満濃)を多賀町倉庫へ

2006年から破格値で借りていた田村町倉庫と、2001年から無償で借りていた満濃倉庫を引越し、新しく多賀町倉庫に拠点を移しました。田村町倉庫は便利な国道沿いで、震災時には大量の物資をストック、満濃町倉庫は棚などの大物ををストックする場所として助けられた倉庫でした。活動に不可欠な倉庫。困って声をかけたら手を差し伸べてくださるオーナーの方々に支えられてきました。今後は、春日町倉庫、多賀町倉庫に機能を集約し、活動して参りますので、これからよろしくお願い致します。

引越しは林田物流さんの協力をいただきました



### 事務局スタッフ着任のご挨拶



大学院在学中にアフリカのザンビア共和国に行ったときに、途上国における学校不足や生活の現状を目の当たりにして国際協力の重要性を感じましたが、自分一人では始めることは難しいと思っていました。しかし、セカンドハンドの根本精神である「できることを、できる範囲で」という考え方に会い、今回このような機会をいただいて国際協力の第一歩を踏み出すことができました。これから、支えてくださっている皆様の思いをしっかりと支援につなげていけるように活動していきたいと思っています。事務局スタッフ 渋谷 壮平

※来春退任する事務局職員の後任です。よろしくお願い致します。



セカンドハンドのHPをリニューアル予定です。HP作成に詳しいお手伝いくださる方を募集中! ご興味ある方は事務局まで。

## 提供品の受付

秋物:12月下旬まで

冬物:1月から

【送り先】〒761-0101 高松市春日町1586-1  
セシール春日物流センター内 セカンドハンド  
(※平日必着。持込は受付けていません)  
【持込先】セカンドハンド高松店

## 自転車ありませんか？

ご家庭で使わなくなった自転車が  
あったらご提供ください。

## 事務局職員、 パートスタッフ 募集

詳しくはホームページをご覧ください。

## Second hand Official Supporter (SOS会員)募集

資金面で安定して活動を支えてくださる賛助会員を募集しています。4月スタートの1年毎の更新となりますが、いつでも加入できます。ぜひ、応援してください。

|       | ①一年一括      | ②定額自動送金<br>(毎月) |
|-------|------------|-----------------|
| 個人    | 一口 10,000円 | 一口 2,000円       |
| 企業・団体 | 一口 20,000円 | 一口 3,000円       |

お振込みは同封の郵便振替用紙をご利用ください。  
定額自動送金をご希望の方は、  
事務局までご連絡ください。

インターネットからもご寄付できるようになりました！

詳しくはセカンドハンドのホームページ (<http://2nd-hand.main.jp/>) をご覧ください。

## ボランティアスタッフ募集中

お店番、倉庫作業、運搬、どこも人手が不足しています。月1回～週2回などそれぞれのペースで参加できます。活動に参加してみませんか？

## お店の営業時間変更！

詳しくは下記の各店舗情報をご覧ください。

今後ともよろしくお願い致します。

## セカンドハンドイベント&ボランティア情報

セカンドハンドのお店、イベントの収益金の一部は被災者支援に充てられます

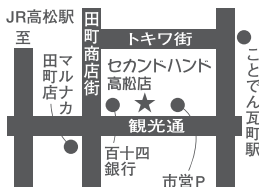
| 日 程                | 内 容                               | 場 所 (記載なし→高松市)       |
|--------------------|-----------------------------------|----------------------|
| 10月27日(木)～11月8日(火) | JICA青年研修(アフリカ、ハイチから母子保健関係者8名が来日)  | 香川県内                 |
| 11月3日(木)           | フリーマーケット出店                        | 草ヶ江幼稚園(福岡市)          |
| 11月4日(金)～6日(日)     | 三宅産業 秋の総合展示会 出店                   | 三宅産業(株)敷地内(観音寺市)     |
| 11月6日(日)           | かがわ国際フェスタ セカンドハンドユース出店            | アイパル香川               |
| 11月7日(月)～11日(金)    | 一宮中学校 職場体験受け入れ                    | セカンドハンド本部            |
| 11月7日(月)～12日(土)    | チャリティーバザー                         | 4 町パティオ広場            |
| 11月8日(火)           | チャリティーパーティー                       | 高松市内                 |
| 11月13日(日)          | まんのう町仲南文化祭 出店                     | まんのう町                |
| 11月29日(火)          | 講義(新田)                            | 今治明徳短大(愛媛県)          |
| 12月1日(木)           | 勝賀中学校 職場体験受け入れ                    | セカンドハンド本部            |
| 12月16日(金)          | 講演(新田)                            | 宇多津中学校(宇多津町)         |
| 12月24日(土)・25日(日)   | ニュースレター発送作業                       | セカンドハンド本部            |
| 1月3日(火)            | 初詣チャリティーバザー ～雲辺寺恒例、有名人を呼んでの福もち投げ～ | 四国霊場第 66 番札所雲辺寺(徳島県) |

## 高松店

### ■セカンドハンド本部(3F)

### ■高松店1F

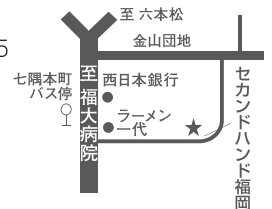
〒760-0055  
高松市観光通1-1-18  
TEL:087-861-9928  
営業時間:  
月～金 10時～16時  
土 11時～15時  
日・祝日 定休日



## セカンドハンドのネットワーク

### ■セカンドハンド福岡

〒814-0131  
福岡市城南区松山2-7-15  
TEL&FAX:  
092-871-5760  
営業時間:  
月 11:00～15:00



### ■セカンドハンド大阪

徳 090-6241-3768  
(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

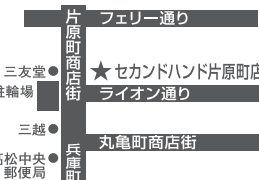
### ■セカンドハンド北海道

大波 Tel:090-2695-9390  
Fax:011-785-2311  
(E-mail) satomie@seagreen.ocn.ne.jp

## 片原町店

### ■セカンドハンド片原町店

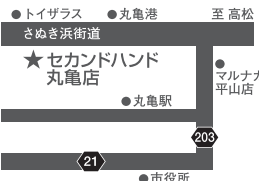
〒760-0040  
高松市片原町9-1  
TEL:087-822-3552  
営業時間:  
月～金 10時～18時  
土・日・祝日 10時～17時



## 丸亀店

### ■セカンドハンド丸亀店

〒763-0063  
丸亀市新浜町1-803-2  
マルナカパワーシティ丸亀店内  
TEL:0877-25-2876  
営業時間:  
全日 9時30分～19時



## ● ボランティア募集 ●

お店番、仕分け作業、事務、イベント運営、チャリティーショップやセカンドハンドの運営を支えてください。

☆このニュースレターは3か月に一度5500部発行しています。封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、約4800部を全国の支援者へ無料で発送しています。購読ご希望の方は、ハガキ、FAX、メールなどでお申し込みください。